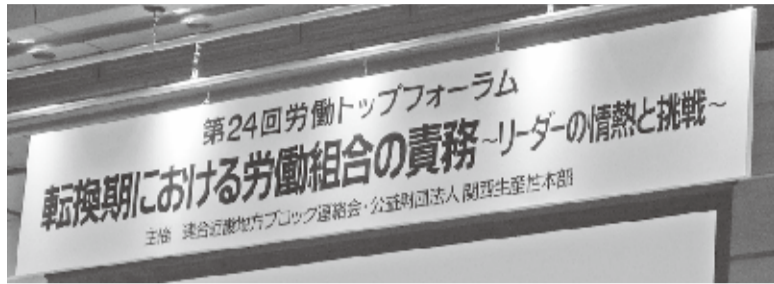


第24回労働トップフォーラム

転換期における労働組合の責務 ～リーダーの情熱と挑戦～



基調講演 「今後の日本の行方」 増田寛也氏
 経営者講話 「鉄道の再生」～JR九州の経営を通じて～ 石原進氏
 特別講演 「個の力を伸ばし、勝てる組織をつくるコーチング」 立花龍司氏

今年で二十四回目となる労働トップフォーラムが、六月一日(日)マインドーム大阪で開催されました。このフォーラムは、労働運動に携わる者が集まり、真摯な議論と交流を深めることにより、激変する時代に対応する労働運動・生産性運動を推進し、新しい日本づくりを推し進めるための研究・討論の場として発展してきました。今回は、「転換期における労働組合の責務」を全体テーマに据え、三名の講師を招き講演をしていただきました。

第一部(基調講演)では、「今後の日本の行方」をテーマに、岩手県知事や総務大臣を歴任された増田寛也氏が講演しました。日本の深刻な課題として、①人口減少、②電力不足・エネルギー問題を挙げ、特に人口減少は二〇三〇年以降、都市部(最たるものは東京)の問題として深刻化する。求められる3つの変革として、①国・地域を開く(TPP推進、海外からの投資拡大)、②人材の質を高める(知識労働への転換、女性の就労拡大)、③地域資源を活用する(東京一極の見直し)、が示されました。

増田寛也氏

第三部(特別講演)では、「個の力を伸ばす」「勝てる組織」をテーマに、日本のプロ野球や大リーグでコンディショニングコーチとして活躍、数々のトップアスリートとも親交のある立花龍司氏が講演されました。

立花龍司氏

第二部(経営者講話)では、「鉄道の再生」～JR九州の経営を通じて～と題して、九州旅客鉄道株式会社取締役会長の石原進氏が講演を行いました。最初に「JR九州の歩み」として、国鉄から民営化にいたった経過が、経営状況・労使関係などを詳しく説明されました。その反省から、民営化後の経営として、①鉄道分野の強化(増便、サービス向上、デザイン)、②事業の多角化、③コスト削減、に取り組むとともに、健全な労使関係を構築するために、「目標の共有」を

最後に、今回の三つの講演において共通で語られたことがあります。それは現場の声の大切さです。それは自治体、企業、スポーツチームといった全ての組織に当てはまります。JR九州においては、「お客様の声」を現場の職員が「社員の提案」として挙げ、本社から確実にレスポンスがある(しかも迅速に!)ことにより、サービスマネジメントへの社員参加を実感します。そのことにより現場の士気が高まったといえます。現場との信頼関係が最も大切な労働組合の果たす役割は大きいと感じました。

石原進氏

辻井啓典



国が管理する原発事故の対応拠点「Jビレッジ」

二〇一三年五月十三日(月) 京都交運労協で、福島原発事故の対応拠点となっている「Jヴィレッジ」の視察に参加してきました。「Jヴィレッジ」は一九九七年に開設されたスポーツ施設で、福島県南東部、広野町と楢葉町に跨り立地しています。全十一面の天然芝ピッチに宿泊・研修施設も併設され、サッカートレーニング施設としては日本最大規模で、審判員・指導員の養成事業などにも利用され日本サッカー界の重要拠点でした。福島第一原発から二十kmの距離、避難指示区域の境界にあり、事故発生後はスポーツ施設としては全面閉鎖され原発事故の対応拠点となりました。

現在「Jヴィレッジ」は二十km圏内福島第一・第二原発と二十km圏外をつなぐ中継基地となり、放射性物質の拡散防止、人員輸送、資機材物流、個人放射線管理、医療の拠点となっています。作業員はここで防護服、全面マスク、手袋、線量計などの装備を着脱し、人員・資機材の輸送はここで車両を変えます。東電の担当者が館内を案内してくれました。慌ただしい訳ではないのに言葉にできない緊張感があります。センターハウス展望台から見えるのは、砂利・アスファルト・鉄板が敷かれ、ヘリポート・駐車場・除染場・資材保管場所になったフィールドです。少し離れたスタジアムには一〇

京都交運労協 東日本大震災現地復興視察

in 福島 (PART1)

サッカーの聖地Jヴィレッジ視察

〇〇人規模の宿舎が建てられています。第一原発の方向を示されても二十km先の姿を望むことはできません。この先に居住制限区域、その先には帰宅困難区域が広がっている事を思うと胸が痛みます。今でもセンターハウスには選手サイン入りパネルが飾られ、館内には「蹴球神社」が祀られていました。一日も早い復旧、復興を願うばかりです。次号でも、復興視察のレポート報告をします。

自動車部長 山本 保

住まいの保障も、
全労済は安心です。

自然災害保障付 火災共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済

- 火災はもちろん、風水害、落雷、地震などの万一の災害から、資産など身近な被害まで。幅広い保障で強力にバックアップ!
- 家計にやさしい掛金で、暮らしに安心をお届けします!

保障のことなら
全労済